

令和 7 年度 第 1 回 地域連携推進会議 議事録（共同生活援助）

事業所名	社会福祉法人あんさんぶる 共同生活援助しゃるーる		
開催日時	令和 7 年 6 月 24 日（火） 14:00～15:00		
場所	共同生活援助しゃるーる		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	2名	管理者、支援員
	入居者	2名	
	入居者ご家族	2名	
	地域の関係者	1名	自治会長
	福祉に知見を有する方	1名	相談員
	経営に知見を有する方	1名	GH 管理者
	市町村担当職員	2名	伊丹市障害福祉課
議題	① 開会 ② 出席報告 ③ 地域連携推進会議の趣旨説明 ④ 共同生活援助説明 ⑤ グループホームの紹介、障がい特性、支援について ⑥ その他 ⑦ 閉会		
協議内容・意見等	① 開会 ・管理者よりあいさつ ・参加承諾書の記入 参加者自己紹介 ② 出席報告 ・構成員の紹介 ③ 地域連携推進会議の趣旨説明 ・パワーポイント資料により会議の趣旨を説明する 伊丹で地域連携推進会議はしゃるーるが初めて実施。 今後、新たに介護保険事業所や地域包括支援センターなど構成員を増やす予定。 ④ 共同生活援助説明 ・共同生活援助しゃるーるの紹介 紹介動画、日課、利用サービス（重度訪問介護、共同生活援助）、家賃などの費用、職員体制について		

⑤ グループホームの紹介、障害特性、支援について

- ・障害特性について
- ・支援内容について
- ・発達段階における支援について
- ・知的障害について
- ・問題行動について

氷山モデルから考える支援（特性は強みとなる）

⑥ その他

- ・次回開催について

今回は秋頃を予定、次回以降質疑応答、見学用のチェックシートを用意予定。

○出席者より（感想）

- ・入居者ご家族

本人をいろんな方に知ってもらって、もっと地域に出て行けるようにすればこれから先も楽しく過ごして行けるのではないかな。

- ・入居者ご家族

本人にとっての居場所になっており、段々親離れをしてきている。子供として扱っていたが成人男性らしくなってきた。GH とたくさんお話ししながら成長したこと共有できているのを地域ともしもって地域に出て行って欲しい。

- ・相談員

相談支援という立場で定期的に訪問している。相談支援の基礎知識の中でひらかれた会議を通してもっと分かりやすい説明やスタッフとの関わり方など普段の自分達を見直す機会になりそれがもっともっと地域にも伝わって行って欲しい。夢と希望としてふんわり思える機会になった。

- ・自治会会長

温かい雰囲気で見守って頂いているのが伝わる。とてもいい施設だなと思った。

- ・障害福祉課

GH 訪問は初めてだがお家のような温かい雰囲気。国の制度が変わったからしなければならない会議という視点から皆さんが集まって話せるのは貴重な機会だと感じた。

- ・障害福祉課

しゃるーる訪問は初めてだが利用者さんと職員さんの距離が近くお互いにコミュニケーションを取って理解しているように感じた。地域との関係づくり、自分たちはどうであるのか？今回の会議をきっかけに自治会や民生委員と関われたらいいなと感じた。

- ・GH 管理者

地域の活動に参加するという壁は課題であり簡単に超えられない。踏み込めるようになることが課題であり共通理解することが目的。他施設だが感じる事ができて良かった。

アイ愛センターで地域連携推進会議の説明会前に聞けて良かった。

- ・入居者

今後意見をいただけるようにアンケートや選択できるような工夫を行っていきます。